

■(明庵)栄西 僧。武家社会に対応する新たな仏教禅宗(臨済宗)を将来・確立、後の茶道拓く茶の栽培利用を啓蒙。

えいさい(ようさい)

崇徳天皇讓位1141= 生。備中国吉備津神社の神官賀陽氏の出身。

・・・・・・1148= 7歳：_父に仏典学習の手ほどきをうけ、

頼長氏長者・1150= 9歳：

頼長内覧・1151=10歳：付近の安養寺の静心に師事した。

為朝鎮西乱行1154=13歳：_剃髪し、比叡山で受戒。

保元の乱・1156=15歳：

藤原基衡没・1157=16歳：静心の死後、

後白河院政始1158=17歳：密教を千命に、

平治の乱・1159=18歳：天台教学を有弁に学んだ。

・・・・・・1161=20歳：この頃、_入宋の志しを起こして比叡山を離れ、

・・・・・・1162=21歳：帰郷して父母を説得、

備前国日応山など山林・霊場で密教的苦行を重ね、

清盛太政大臣1167=26歳：_伯耆国大山寺の基好(慈円に招かれ簞笠の風体で上洛し、卑賤扱いされるやにわか退出したという、気骨ある地方密教僧で、栄西の密教事相は多く基好に抛った)や比叡山の顕意より台密穴太流の灌頂をうけた。

父母の許を辞し、鎮西に赴き、

厳島神社・1168=27歳：*博多より日宋貿易の商船に乗じて入宋。明州で俊乗房重源に出会い、天台山では羅漢信仰の、阿育王山では舍利信仰の奇瑞を体験して、帰国。

後白河出家・1169=28歳：_備前、備中方面の日応山、金山寺など山岳寺院を拠点とし、とくに金山寺には山内の一面に遍照院を建立して一山の復興に貢献。

法然浄土宗始1175=34歳：_「胎口決」「出纏大綱」を著す。筑前国の貿易港今津に創建された誓願寺に招かれ、落慶供養の阿闍梨をつとめ、その後宋版一切経の購入をめざしてこの寺に住し、法華一品経書写の勸進も行っている。

鹿ヶ谷事件・1177=36歳：

・・・・・・1178=37歳：_「筑前誓願寺孟蘭盆縁起」(国宝)を書く。

源氏一斉蜂起1180=39歳：「結縁一遍集」を著す。

平清盛没・1181=40歳：「秘宗隠語集」を撰する。

_密教の著作が多く成し、すでにその面で一家をなしていたが、

平氏滅亡・1185=44歳：

九条兼実摂政1186=45歳：

藤原秀衡没・1187=46歳：

「菩提心論口決」成る。_再び入宋を敢行。インド仏跡を参拝する大計画は、臨安における南宋政府の認可がなく挫折したが、帰途の船の漂着をきっかけに再び天台山万年寺を訪れ、虚庵懐敏に参じた。当初から懐敏は日本の密教に大きな関心を示すなど栄西に好意的で、栄西もまたおそらくインド行の旅費であった莫大な資をはたいて、天台山の諸堂の整備に尽くし、

懐敏が天童山景德寺に移るとそのまま従い、

源頼朝上洛・1190=49歳：_禅の悟りを体験、臨済宗黄竜派の印可を受けて、

栄西臨済宗始1191=50歳：*帰国し、臨済宗を伝える。

鎌倉幕府始・1192=51歳：_筑前国香椎官の側に建久報恩寺を創建し、初めて布薩。

・・・・・・1193=52歳：_筑後に千光寺を建立するなど、禅体現者として活躍。これに反感を抱く管崎の良弁や比叡山の意向で、

・・・・・・1194=53歳：_朝廷から達磨宗停止の宣旨を下され、大日房能忍のそれと合わせて、禅宗を禁じられるが、

東大寺再建完1195=54歳：_関白九条兼実と呼び出され、上京して尋問を受けた後、博多に行き聖福寺を創立。

・・・・・・1198=57歳：_これに対する反論と主張を「興禅護国論」にまとめ、宋の詩人楼鑰がこの功績を顕彰する「千仏閣記」を草している。

源頼朝没・1199=58歳：*鎌倉に下向、北条政子と2代將軍源頼家の帰依をうけ、

梶原景時征討1200=59歳：_寿福寺に請ぜられて開山となった。

・・・・・・1202=61歳：_頼家の寺地施入により京都に建仁寺を開創、また頼家の申請で朝廷はここに真言・止観・禅の三宗を置く宣旨を下した。禅宗勅許の目標は一応達成され、京都・鎌倉を往復する栄西の活躍が始まる。

執権政治始・1203=62歳：

源頼朝暗殺・1204=63歳：_密教の門弟と道心者に斎戒実践の署名を募り、この勢力を誇示しながら、戒律実践を軸に日本仏法の中興を主唱する願文を草し、暗に建仁寺に対する朝廷のいっそうの保護を要請、

新古今集・1205=64歳：_同寺は官寺となった。

モンゴル帝国・1206=65歳：_この年没した重源の後継者として、東大寺大勸進職に任命されて、以降大いに手腕をふるい、

・・・・・・1209=68歳：以降、法勝寺九重塔再建をつかさどる。

・・・・・・1211=70歳：_「喫茶養生記」を撰する。

方丈記・1212=71歳：_法印に叙される。

北条頼朝確立1213=72歳：_九重塔の完成の功により権僧正になったが、この昇進と生前の大師号を望んだことが貴族や慈円ら貴族僧の非難的になるなか、

職人歌合・1214=73歳：_*「喫茶養生記」を再稿し、源実朝に茶を進め、録進して、

栄西没・1215=74歳：_没した。